

# パンチュートラップ

〈野ねずみ予察調査用トラップ〉

PAT No.1017970 PAT PED 7件

## ◆特徴

- ・小型で軽く、持ち運びが楽
- ・操作が簡単、カラフルで設置後の紛失が少ない
- ・食い逃げが少なく高い捕獲率
- ・ネズミの破損が少なく衛生的
- ・はじき罠トラップに比べ、から落ちが少ない



エサをセットした状態

## ◆エサには

- ・生落花生、トウモロコシ、犬猫用餌、生のサツマイモなど、ネズミの好むものを適当な大きさにして使用してください。

## ◆取り扱いの注意

- ・取り扱いの際は、ケガをしないよう十分に注意してください。
- ・製品本来の目的以外の用途には使用しないでください。
- ・パンチュートラップの「バネ板」は特殊なプラスチック板を使用していますが、本器を使用しない場合はプラスチックの性質上セット（曲げ）しないでください。  
また、ワナとして仕掛ける場合も「連続50時間」以内でご使用ください。
- ・一度、復元状態に戻してから使用しますと何回でも使えます。
- ・本器を洗う場合は、水かぬるま湯を使用してください。  
(50度以上の湯や火気に近づけますと、変形等の恐れがあります。)

## パンチュートラップの セットの仕方



左手で本器を持ち、右手を図のようにあて、右手の3本指で下から押し上げるようにして曲げる。



右手でバネ板を止め、左手の人差し指で図のようにエサを取り付ければセットが完了です。

| 商品名         | 規格           |
|-------------|--------------|
| パンチュートラップP型 | 長さ9cm×幅3.8cm |

# 生落花生

〈野ねずみ予察調査用餌〉

## ◆取り扱いの注意

- ・直射日光、高温多湿を避け、冷暗所にて保存してください。

| 商品名  | 規格           |
|------|--------------|
| 生落花生 | 500g (約500粒) |
|      | 100g (約100粒) |



# エゾヤチネズミの発生予察

## エゾヤチネズミ

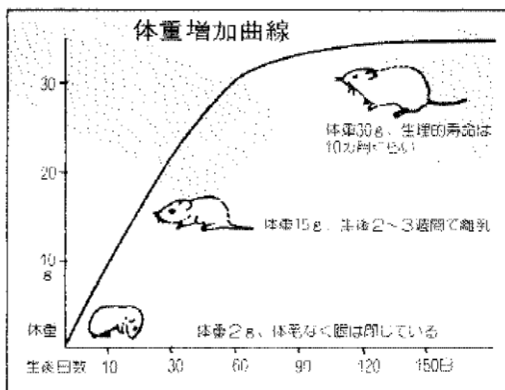
エゾヤチネズミは一年のうちで、積雪のある3月頃から秋の9月頃までが繁殖期である。これは主食である青草が繁茂し、生息条件にめくまれているため、生息数は9月、10月頃まで上昇の傾向をたどる。

駆除はこの秋季の生息数がピークに達した後、降雪前までの間に行われる。晩秋になり、降霜があると青葉は急激に枯れ、青草がすくなくなると次第に生息数が減少してくる。しかし、食物不足になると樹木をも食物とせざるを得なくなり、加害をおこすようになる。

## エゾヤチネズミの繁殖

○食物などの条件がよければ、春と秋の繁殖シーズンに2～3回、1腹で5～6頭の子ネズミが生まれ、1～2ヵ月で親ネズミに育つ。

○交尾・妊娠→分娩・授乳→離乳・巣立ち→性成熟・交尾  
 18～20日間 14～16日間 40～60日間



## 道内にすむ野ネズミ類

|           | 体 重    | 体 長   | 尾 長   |
|-----------|--------|-------|-------|
| ヤチネズミ属    |        |       |       |
| エゾヤチネズミ   | 20～40g | 113mm | 50mm  |
| ミカトネズミ    | 15～20g | 95mm  | 40mm  |
| アカネズミ属    |        |       |       |
| ヒメネズミ     | 15～20g | 84mm  | 100mm |
| エゾアカネズミ   | 30～50g | 114mm | 104mm |
| カラフトアカネズミ | 20～30g | 85mm  | 78mm  |

※体長・尾長ともに成体の平均値

## 予察調査とは

- ① 林地やその周辺に、どんな種類のネズミがすんでいるか。
  - ② どのくらいの数のネズミが生息しているか。
  - ③ それが今後どのように変化してゆくか。
- これらを調査して適正な防除計画、例えば林地の清掃とか、殺ネ剤の散布基準、その時期、回数などを合理的にするためである。

## 予察調査の方法

- ① 全道一斉に、6月8月10月の1日から4日までにする。
- ② 調査地は造林地1箇所、その周辺地1箇所を調査単位にする。
  - 造林地は植栽後2～3年を経過したカラマツ、またはスギ（ない場合はトドマツ）の造林地にする。
  - 周辺地は造林地に隣接する天然林(原則として沢地)とする。
- ③ 捕獲数調査——ハジキワナ(ハンチュートラップ)の配置は、造林地周辺地とも10メートル間隔の巻盤目状に50箇所(5行×10列)にワナを1ヶずつ配置する。
- ④ 調査方法
  - 捕獲調査はワナの配置日を含めて4日間とし、第1日から3日間は餌づけして配置(配置1日捕獲3日)。
  - 捕獲したネズミは捕獲日ごとに種類を判別し、その頭数によって防除を計画する。
- ⑤ なお、調査結果は地域の防除計画樹立のための参考にするほか全道的に集められ、分析され、地域ごとの生息数を予想し、各地域に知らされる。

エゾヤチネズミ

